

日本とトルコの友好の懸け橋として

ドウルナ・オズカヤ氏へ感謝状贈呈

8月5日、串本町役場町長室において、国際交流員の任期を終えトルコへ帰国するドウルナ・オズカヤ氏への感謝状贈呈式が行われました。

オズカヤ氏は平成30年8月より国際交流員として串本町役場総務課に勤務し、通訳・翻訳等を含め国際交流に関わる事務全般を担当。令和2年9月にオンライン開催された「日本トルコ友好130周年事業」においては、駐日トルコ共和国大使館ほか関係機関との連絡



田嶋町長から感謝状を受け取る様子



贈呈された扇子を前に笑顔をみせるドウルナ氏

調整や司会進行も務めました。勤務外ではトルコ語教室やトルコ料理・伝統手芸教室などを開き、両国の文化交流にも尽力しました。田嶋町長は「助け合いや多様性を認めることの大切さを町民に広め、日本とトルコの友好の懸け橋として多大な貢献をしてくれた」と称賛。オズカヤ氏は「優しい方々と出会え、3年間無事務めることができました。串本の皆さんに感謝しています」と振り返りました。

ドウルナ・オズカヤ 退任のごあいさつ

串本町役場 総務課 国際交流員

ドウルナ・オズカヤ

活動開始：2018年8月～



ありのままの私を受け入れてくれる
串本の皆さんが大好きです！
本当にありがとうございました。

私は黒澤監督の「羅生門」という映画をみて「今と昔の日本をもっと知りたい」と思い、大学で日本語や日本文化を学びました。在トルコ日本大使館で働くなかでエルトゥールル号や串本に関心を持っていたところ、串本で国際交流員を募集していることを知り、ぜひ串本で両国の文化交流に貢献したいと思い応募しました。

串本町役場で勤める間、たくさんの方々と出会い、多くの日本の文化に触れることができました。最初串本を訪れた時は不安もあり

ましたが、串本町の皆さんはとても優しく、この3年間は大変充実した日々でした。

串本町は心穏やかに暮らせる町。自分の故郷と同じくらいの愛着を感じています。言語、宗教、肌の色に関係なく、ありのまま人を受け入れてくれる、とても優しい串本町の皆さんが大好きです。帰国後は、日本の文化や串本町の方々の温かさと優しさを多くの人に伝え、これからも両国間の友好に貢献できるよう走り続けたいと思います。

本当にありがとうございました。